

6年 わたしが創る“学びの時間”～教科と総合の記録～

各教科

子供が「主語」となる学習時間の形成



学習リーダーが、チームごとの本時のめあてや学習の流れを確認し、進行していく。子供たち主導で課題解決し、チームのめあて達成に向け、主体的にかかわろうとする態度を養っていく。

個々の課題に適した課題解決（個別最適な学び）



自己や仲間の動きの変化や伸びを見つけてたり、考えたりしたことを持ち合ったり、他者に伝えたり、聞いたりすることで、課題を調節し、主体的に学習に向かう態度を育てていく。

チームの能力に応じた練習（協働的な学び）



チームの能力に適した練習場所や方法を話し合い、課題を解決しようとする力を育てていく。チームの伸びや、成果を互いに褒め合って、自己肯定感を高めていく。

総合的な学習の時間

課題発見・収集



活動の初期段階では、児童たちが自分たちの移動教室をどのようなものにしたいかという願いや思いを確認し、それを達成するための手立てについて考えた。

横断的な見方・考え方



レク係では、これまでの学級活動や前年度の移動教室の成功例をもとに、「時間配分」や「全員参加型のゲーム」の企画、工夫を取り入れるなど、横断的な見方、考え方ができるようになった。

整理・分析



班長たちは、仕事を単に列挙するだけではなく、必要性や優先順位を考えながら、タイムラインに沿って班長の動きをシミュレーションする場面もあった。

学校の教育目標「自立・共生・健康」